委

三年

画数 8
筆順 ノ 二 千 禾 委 委
オン イ
クン

成り立ち

稲の形を表した〝禾〟と、女のすがたをあらわした〝女〟とを組み合わせて、「稲が風に〝まかせて〟ゆれ動く」ように、「女が男に〝まかせ〟したがう」ように、〝まかせる〟ことをあらわした字です。

〝任（5年785）〟と同じいみ（任せる）につかわれています。例委任、委託。

また、〝詳しい〟といういみにもつかわれます。例委細（〝詳細〟ということばと同じいみ）、委曲（〝曲〟には、こまかい一つ一つの部分、くわしいといういみもあります）。

使い方

▽学級委員を選挙で決めました。候補は何人か出ていましたが、森山さんと、内田君に決まりました。

▽会議に欠席するので、川本君に委任状を書いて、ぼくのかわりに出席してもらった。

熟語例

▽委員（あるグループで、代表して選ばれ、グループのための仕事をする人。「学級委員」「執行委員」など、いろいろの委員があります。）

▽委任（任せること。あることを、他人にまかせて、やってもらうこと。「委任状」といえば、ある人に、なにかについて、委任したことを書いた紙のことです。）

▽委託（自分の用事を、だれかに任せて、やってもらうこと。「市の業務を委託された業者」などというふうに、つかいます。）

▽委細（詳しいこと。詳細。「ことの委細を話すと…」などというふうに、つかいます。）

▽委曲（詳しいこと。「委曲をつくして説明したが、よくわかってはもらえなかった」などというふうに、つかいます。）

意

三年

画数 13
筆順 ⺧ 立 音 意
オン イ
クン

成り立ち

「口から出てくる〝音〟」＝〝声〟をあらわした〝音（1年1）〟と、心ぞうの形をあらわした〝心〟とを組み合わせて作った字です。

心につよく思うことは、思わず声になって口から出るものです。それで、「心につよく思うこと」や「心のうごき」を〝意〟という字であらわしました。

また、「ものごとを行おうという〝かんがえ〟」のいみにつかいます。例意志、意思、意見。

使い方

▽わたしは、「口は災いの門」ということわざの意味が、よくわかりませんでした。それで、お母さんに聞いたら、「よけいなおしゃべりをすると、失敗するという意味よ」とおしえてくれました。

▽クラス討論会で、意見を発表しました。

熟語例

▽意志（こうしよう、という考え。「君の意志を尊重する」などというふうに、つかいます。）

▽意思（なにかをしようとする考えや思い。「意志」というと、「どうしても、〜しよう」という強い響きを持っていますが、「意思」の方には、それはありません。「意思表示」といえば、「考えを示す」という意味になります。）

▽意見（あることについての考え。「ぼくの意見は、君のとは少しちがう」などというふうに、つかいます。）

▽意味（そのことばが持っている内容。「あの人の言うことは、よく意味がわからない」などというふうに、つかいます。）